

腸管出血性大腸菌（^{オー}O157）感染症患者の発生について

1. 患者の状況

- ・患者 中部厚生センター管内 男性 （10歳代）
- ・経緯 9月20日（日）下痢
9月23日（水）症状が続くため、医療機関を受診
9月28日（月）腸管出血性大腸菌（O157）感染症と診断
- ・症状 現在、症状は消失している

2. 患者及び感染源調査

- ・患者の喫食状況調査及び行動調査を実施
- ・患者家族等接触者の健康状況調査を実施

3. 対応

- ・患者自宅等の消毒を指示
- ・患者及び感染者家族等に対し、衛生教育を実施

4. 予防対策の周知をお願いします

- ・調理の際、食事の際、トイレの後など手洗い消毒を徹底しましょう
- ・肉類や加熱する食品は十分に加熱しましょう
- ・調理器具を使い分けましょう

■下痢等の症状がある場合は、速やかに医療機関を受診し医師の診察を受けましょう

5. 参考

○今年（2020年）及び前年（2019年）の発生状況については、こちらをご覧ください。

<富山県感染症情報センターのホームページ>

<http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/0157/0157top.htm>

【報道機関各位へお願い】

報道に際しては、患者様御本人及び御家族のプライバシーに十分な御配慮をお願い致します。